

安居小学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時]

令和3年10月7日(木) 10:10～11:50

[出席者]

(1) 学校側出席者

安居小学校長、教頭、担当教諭1名、安居子ども育成会会長

(2) 市側出席者

福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容]

- ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
- ・足羽山どんぐりプロジェクトの実施

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な（身につけるべき）能力・態度

	環境の取組	能力・態度	概念
I	≪環境学習・環境教育≫ ・ 安居地区の自然環境について、学習します。 ・ 社会科の学習のなかで、ゴミ処理が抱える問題や水資源の有限性を学習します。	③、④、⑤、⑥、⑦	①、②、⑤、⑥
		所感	
		学校訪問当日は、学校側から丁寧なオリジナル資料に基づいて、環境学習の実践内容についての報告を受けたのち、意見交換をした。 その後、4年生15名を対象に「どんぐりプロジェクト」の趣旨を説明したうえで、4グループに分かれて、どんぐり種子のポットへの植え付け作業を行った。 10月とは思えない暑い日であったが、児童たちは生き生きとどんぐり種子の植え付けを行っていた。また、作業終了後には、何名かの児童が、自主的にこぼれた培養土の清掃作業を行う姿に、日ごろからの児童たちの環境意識が垣間見られて、とてもうれしいできごとであった。 また、学校林の活用方策については、福井市環境政策課にも相談に乗ってもらおうというのではないのでしょうか。	
II	≪省エネルギー・省資源の取り組み≫ ・ 環境委員会で、掲示物や放送を用いて、節水・節電を呼びかけます。 ・ 掃除用具の点検を毎月行い、大切に使うよう呼びかけます。	能力・態度	概念
		④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
		所感	
		地道な取り組みですが、今後も継続して行ってほしいと考えます。	
III	環境の取組 ≪ゴミの分別・リユース、リサイクルの取り組み≫ ・ 地域のごみ分別ルールに従って、分別します。 ・ PTAや地域と連携し、アルミ缶や古紙の回収を実施します。	能力・態度	概念
		④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
		所感	

	・ 文書や会議資料は、可能な限り裏紙を活用して印刷するようにします。 ペーパーレス化など紙削減への取り組みが進んでいると感じることができた。 なお、古紙（新聞や雑誌）やアルミ缶の回収事業は、ともすればマンネリ化しがちですので、その成果（回収量や金額など）を発信することを検討してほしいと思います。
IV	その他の所感 いまだ世の中のコロナ禍を払拭できたわけではないので、事業が計画通り進められないなど何かと気苦労も多いと思いますが、今後とも、PTAや子ども育成会など地域との連携・協力のもと、環境への取り組みを行ってほしいと考えます。 4年生の児童に対し、来春のどんぐりの発芽期までに、もう一度、里（さと）の意味やコナラやクヌギなどどんぐりのできる樹木が生息することの意義を理解してほしいと思います。 とくに、このどんぐりプロジェクトの一環として行っている児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではありませんので、来春には、まちまちの結果になるであろう発芽結果の受け止め方について、児童に適切に指導・対応してほしいと思います。 また、4年生児童による「ゴミを減らそうプロジェクト」の具体的内容を、福井市に提案された活動は、考えることから行動へ踏み出す、さらに外部への働きかけを学ぶ上でも、とても有意義な取り組みだと考えます。

[訪問の様子]

